

ごあいさつ

鎌倉市鏑木清方記念美術館は、鏑木清方の業績を広く後世に伝えるため、平成 6 年にご遺族から鎌倉市に寄贈された作品・資料・土地・建物をもとに、平成 10 年 4 月 17 日に開館し、多くの方々のご理解とご支援を賜り、平成 25 年で 15 周年を迎えました。

その間、美術館を取り巻く環境は、日本経済の減速に伴う制度改革によって導入された指定管理者制度や、東日本大震災による価値観の変化に伴い、省エネルギー・自然環境に優しい美術館をめざすようになるなど、大きく変化しています。

このたび、15 周年を迎えるにあたって、10 周年記念誌に掲載した以降の事業を中心に記録をまとめ、ここに皆さまのご高覧に供することといたしました。

当館は、今後も多くの方々に愛される記念美術館として、鏑木清方の芸術の更なる普及に努めて参ります。

これまでのご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月 1 日

館長 真室佳武

目次

ごあいさつ

目次

I	沿革	1
II	動向	2
III	活動記録	
	1. 展覧会	4
	2. 教育普及	
	1. 講演会	49
	2. 展示解説	50
	3. 子どもプログラム	55
	4. 市民サポートスタッフ	59
	5. 館外活動	59
	6. 映像コーナー	62
	7. 図書コーナー	62
	3. 収集・保存	
	1. 収蔵作品数	63
	2. 追加収集作品目録	63
	3. 保存修復作品	63
	4. 貸出事業	66
	4. 調査・研究	
	1. 刊行図録	67
	2. アンケート概要	70
	5. 広報・宣伝	73
	6. 共催・連携	73
	7. 企画協力	74
IV	資料	
	1. 施設概要	75
	2. 利用案内	75
	3. 入館者数	76
	4. 美術館設置条例	77
	5. ミュージアムショップ取扱商品一覧	80
V	紀要	
	日本画のよさと鏑木清方の芸術を伝えるために —子ども参加プログラム報告書— 宮崎徹	83
	鏑木清方の文化勲章への軌跡 —新たに寄贈された作品や資料から見る— 宮崎徹	92
	文献目録	102
	展覧会記録	123

I 沿革

平成2、3年頃	山田肇氏(鎬木清方の娘婿。当時 明治大学名誉教授、演劇評論家)が、鎬木清方の作品の散逸を防ぎ、その業績を永く後世に伝えるため、清方の終の棲家となった土地、建物及び所有する作品等を活用した記念館の設立等について、横浜美術館等に相談。その意向は鎌倉市に伝えられ、市が受け入れ等の準備を始める。
平成5年10月	8月に急逝された山田氏のご遺族より、寄贈の意向が鎌倉市に正式に伝えられる。
平成5年11月	寄贈作品・資料等が横浜美術館の収蔵庫に移され、調査が始まる。
平成6年3月	遺族から土地(955.27㎡)、建物(214.11㎡)及び作品の一部(26点)が鎌倉市に寄贈される。
平成6年6月	作品の一部(14点)が追加寄贈される。寄贈の手続きは以降5回にわたり実施。
平成6年7月	「(仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会」設置。座長は鎌倉風致保存会会長の上野豊氏。以降計6回の検討会を経て基本構想がまとめられる。
平成6年10月	「受贈記念 鎬木清方展」を鎌倉国宝館にて開催。
平成7年6月	(仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会報告書提出。
平成7年	展示設計委託、基本設計、実施設計、地質調査委託、近隣住民調整を実施。 鎬木清方の旧宅解体が決定。美術館としての機能を備えるために、老朽化した既存建物を活用する方針を変更。
平成7年12月	鎌倉市議会で補正予算が承認される。(建設工事費・家屋解体工事費・家屋事前調査費)
平成8年2月	鎬木清方旧宅解体。
平成8年4月	着工。
平成9年8月	横浜美術館に保管されていた作品の鎌倉文学館、鎌倉市立図書館への移管を開始。 建物竣工。財団法人鎌倉市芸術文化振興財団へ施設管理委託。外構・庭園の工事実施。
平成10年3月	工事竣工
平成10年4月17日	鎌倉市鎬木清方記念美術館開館 。開館記念式典開催。
平成10年4月18日	一般観覧開始。
平成13年9月	「鎬木清方記念美術館 収蔵品図録—作品編—」発行。以降毎年度、鎬木清方記念美術館叢書図録を刊行。
平成16年4月	開館準備に際して設置された専門委員制度に代わり、参与を設置。
平成17年9月	入館者数20万人達成。
平成18年4月	指定管理者制度導入により、財団法人鎌倉市芸術文化振興財団が事業の運営を行う。 参与を廃し、館長に真室佳武氏を任命。 市民サポートスタッフ活動開始。
平成18年8月	子ども参加プログラム(ワークショップ)を開始。
平成18年11月	「第1回鎌倉芸術祭」共催。(3日から12日まで)
平成19年	学芸員実習、高校生インターンシップ受入開始。
平成20年1月	初の出張展示「鎬木清方の芸術展」を、美術館「えき」KYOTOにて実施。(2日から27日まで)

Ⅱ 動向

平成 19 年度

- 平成 19 年 4 月 26 日 特別展「清方の美人画」(5 月 30 日まで)
- 平成 19 年 5 月 14 日 美術講演会「清方の美人画の水上《一葉女史の墓》とその後の作品をめぐって」(講師: 柏木智雄氏)を開催。
- 平成 19 年 6 月 2 日 特別展「市井の暮らしと女性たち」(7 月 8 日まで)
- 平成 19 年 7 月 12 日 収蔵品展『『東北新聞』から「霽れゆく村雨」まで【第一期】』(8 月 26 日まで)
- 平成 19 年 7 月 21 日 「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 31 日まで)
- 平成 19 年 8 月 10 日 8 月 16 日、17 日との計 3 回、子ども参加プログラム「うちわに絵を描こう」を実施。
- 平成 19 年 8 月 30 日 収蔵品展『『東北新聞』から「霽れゆく村雨」まで【第二期】』(10 月 17 日まで)
- 平成 19 年 10 月 20 日 日展百年記念 特別展「鏗木清方と官展」(11 月 25 日まで)
- 叢書 9「鏗木清方 展覧会出品作・挿絵 図録 一官展(文展・帝展・日展)への出品作一」発行。
- 平成 19 年 11 月 12 日 美術講演会「鏗木清方と官展」(講師: 河野元昭氏)を開催。
- 平成 19 年 11 月 29 日 収蔵品展「清方の作品と下絵」(12 月 20 日まで)
- 平成 20 年 1 月 2 日 美術館「えき」KYOTO にて開催の「鏗木清方の芸術展」(1 月 27 日まで)に特別協力。
- 平成 20 年 1 月 4 日 収蔵品展「正月の風情と羽子板展」(2 月 11 日まで)
- 平成 20 年 2 月 17 日 収蔵品展「女性が惹かれた美人たち【第一期】清方描く 一葉、鏡花作品の女性を中心に」(3 月 23 日まで)
- 平成 20 年 3 月 25 日 開館十周年記念図録「鏗木清方名作集」発行。
- 平成 20 年 3 月 27 日 収蔵品展「女性が惹かれた美人たち【第二期】清方の優美なる筆遣い」(4 月 20 日まで)
- 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 6 日まで)

平成 20 年度

- 平成 20 年 4 月 2 日 4 月 3 日との計 2 回、子ども参加プログラム「新学年の夢・希望・決意を絵にして色紙に描こう」を実施。
- 平成 20 年 4 月 18 日 編集協力を行った「別冊太陽 日本のこころ 152 鏗木清方 逝きし明治のおもかげ」が株式会社平凡社より発行。
- 平成 20 年 4 月 24 日 開館 10 周年記念 特別展「清方の美—その叙情—」(5 月 28 日まで)
- 平成 20 年 4 月 26 日 開館 10 周年記念講演会「波乃久里子さんによる新派と鏗木清方の美人画」を開催。
- 平成 20 年 5 月 31 日 特別展「清方生誕 130 年記念 鏗木清方展」(7 月 6 日まで)
- 平成 20 年 7 月 10 日 収蔵品展「鏡花作 清方描く」(9 月 3 日まで)
- 平成 20 年 7 月 19 日 「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 31 日まで)
- 平成 20 年 7 月 30 日 7 月 31 日、8 月 7 日の計 3 回、子ども参加プログラム「鳥獣戯画」を模写しよう!」を実施。
- 平成 20 年 9 月 6 日 収蔵品展「清方の美 秋の情趣」(10 月 29 日まで)
- 平成 20 年 11 月 1 日 清方生誕 130 年記念 特別展「清方の芝居絵」(12 月 7 日まで)
- 平成 20 年 11 月 11 日 美術講演会「清方の芝居絵」(講師: 松山薫氏)を開催。
- 平成 20 年 12 月 11 日 収蔵品展「挿絵に見る清方の美」(12 月 21 日まで)
- 平成 20 年 12 月 20 日 叢書 10「鏗木清方の系譜 一師水野年方から清方の弟子たちへ」発行。
- 平成 21 年 1 月 4 日 収蔵品展「清方芸術 羽子板になる」(2 月 1 日まで)
- 平成 21 年 2 月 7 日 収蔵品展「清方美の誕生 一下絵等との比較—【第一期】」(3 月 25 日まで)
- 平成 21 年 3 月 28 日 収蔵品展「清方美の誕生 一下絵等との比較—【第二期】」(4 月 22 日まで)
- 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 5 日まで)

平成 21 年度

- 平成 21 年 4 月 2 日 4 月 3 日との計 2 回、子ども参加プログラム「鏗木清方のスケッチを模写しよう」を実施。
- 平成 21 年 4 月 25 日 特別展「鏗木清方 ローマ開催日本美術展と関西への旅」(5 月 27 日まで)
- 「平成 21 年春の特別展作品選集」発行。
- 平成 21 年 5 月 30 日 特別展「清方と隅田川」(7 月 5 日まで)
- 平成 21 年 6 月 2 日 美術講演会「鏗木清方と隅田川界限」(講師: 谷口榮氏)を開催。
- 平成 21 年 7 月 10 日 収蔵品展「清方の夏休み～涼を求めて～」(8 月 30 日まで)
- 平成 21 年 7 月 18 日 「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 30 日まで)
- 平成 21 年 7 月 30 日 7 月 31 日、8 月 7 日の計 3 回、子ども参加プログラム「日本画材を使って絵日記を描こう!」を実施。
- 平成 21 年 9 月 3 日 収蔵品展「清方と巡る神奈川【第一期】」(10 月 4 日まで)
- 平成 21 年 10 月 8 日 収蔵品展「清方と巡る神奈川【第二期】 秋の情趣を訪ねて 初公開「桜もみぢ」」(11 月 3 日まで)
- 平成 21 年 11 月 7 日 特別展「清方と巡る東京」(12 月 13 日まで)
- 平成 21 年 11 月 10 日 美術講演会「清方と巡る東京」(講師: 久染健夫氏)を開催。
- 平成 21 年 11 月 18 日 サントリー美術館にて開催の「清方ノスタルジア 名品でたどる鏗木清方の美の世界」(平成 22 年 1 月 11 日まで)に企画協力。

- 平成 21 年 12 月 20 日 叢書 11「鐫木清方と七絃会 一安田鞞彦、小林古径、前田青邨、菊池契月、土田麦僊、平福百穂、速水御舟、西村五雲とともに一」発行。
- 平成 21 年 12 月 22 日 収蔵品展「清方の正月 羽子板展」(平成 22 年 1 月 24 日まで)
- 平成 22 年 1 月 28 日 収蔵品展「江戸の面影」(2 月 21 日まで)
- 平成 22 年 2 月 27 日 収蔵品展「明治の風俗画」(4 月 11 日まで)
- 平成 22 年 3 月 26 日 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 4 日まで)

平成 22 年度

- 平成 22 年 4 月 2 日 4 月 3 日との計 2 回、子ども参加プログラム「日本画材を使って和玩具を色紙に描こう」を実施。
- 平成 22 年 4 月 15 日 特別展「鐫木清方、日本画家をめざして 一鳥合会時代の作品を中心に一」(5 月 19 日まで)
- 平成 22 年 5 月 22 日 特別展「鐫木清方、弟子たちとの関わり 一郷土会展を中心に一」(6 月 27 日まで)
- 平成 22 年 5 月 25 日 美術講演会「清方門下による新版画 一伊東深水、川瀬巴水、笠松紫浪と小早川清を中心に一」(講師:渡邊章一郎氏)を開催。
- 平成 22 年 7 月 3 日 収蔵品展「鐫木清方の生きた時代」(8 月 22 日まで)
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 22 日まで)
- 平成 22 年 7 月 29 日 7 月 30 日、8 月 6 日との計 3 回、子ども参加プログラム「ミニ屏風に日本画材を使って絵を描こう」を実施。
- 平成 22 年 8 月 26 日 収蔵品展「鐫木清方と官展【第一期】」(9 月 26 日まで)
- 平成 22 年 9 月 30 日 収蔵品展「鐫木清方と官展【第二期】」(11 月 3 日まで)
- 平成 22 年 11 月 6 日 特別展「七絃会開催八十年記念展 主情派、清方の美」(12 月 12 日まで)
- 平成 22 年 11 月 9 日 美術講演会「清方と七絃会の画家たち」(講師:草薙奈津子氏)を開催。
- 平成 22 年 11 月 13 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉、鎌倉市川喜多映画記念館との連携事業「鎌倉小町通り・八幡宮エリア ミュージアムめぐりのすすめ いつでも参加できるスタンプラリー」を実施。(平成 23 年 1 月 16 日まで)
- 平成 22 年 11 月 20 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉、鎌倉市川喜多映画記念館との連携事業「鎌倉小町通り・八幡宮エリア ミュージアムめぐりのすすめ 学芸員が案内する「キュレーターズツアー」」を実施。(平成 23 年 1 月 15 日にも実施)
- 平成 22 年 12 月 18 日 収蔵品展「明治への思慕―百貨店開催の押絵羽子板「明治風俗十二月月」一」(平成 23 年 2 月 6 日まで)
- 平成 22 年 12 月 20 日 叢書 12「鐫木清方の芝居絵」発行。
- 平成 23 年 2 月 11 日 収蔵品展「日本画家と挿絵の制作【第一期】 一泉鏡花とのかかわり一」(3 月 21 日まで)
- 平成 23 年 3 月 25 日 収蔵品展「日本画家と挿絵の制作【第二期】 一樋口一葉への憧憬一」(4 月 24 日まで)
「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 3 日まで)

平成 23 年度

- 平成 23 年 4 月 2 日 4 月 3 日との計 2 回、子ども参加プログラム「日本画材を使って、三連作の「しおりをつくろう！」」を実施。
- 平成 23 年 4 月 9 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「鎌倉小町通り・八幡宮エリア ミュージアムめぐりのすすめ いつでも参加できる「スタンプラリー」」を実施。(10 月 10 日まで)
- 平成 23 年 4 月 28 日 特別展「清方の《娘道成寺》と明治の風情」(6 月 1 日まで)
- 平成 23 年 5 月 22 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「鎌倉小町通り・八幡宮エリア ミュージアムめぐりのすすめ 学芸員が案内する「キュレーターズツアー」」実施。(6 月 18 日、7 月 2 日、8 月 20 日、9 月 3 日にも実施)
- 平成 23 年 6 月 4 日 特別展「清方描く、歌舞伎、新派、文学」(7 月 10 日まで)
- 平成 23 年 6 月 7 日 美術講演会「清方の描いた歌舞伎、新派、文学」(講師:大木晃弘氏)を開催。
- 平成 23 年 7 月 15 日 収蔵品展「清方、物語を絵にする」(8 月 28 日まで)
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 28 日まで)
- 平成 23 年 7 月 28 日 7 月 29 日、8 月 5 日の計 3 回、子ども参加プログラム「日本画材を使って絵を描き「掛軸」にしよう！」を実施。
- 平成 23 年 9 月 1 日 収蔵品展「清方、秋の情趣」(10 月 2 日まで)
- 平成 23 年 10 月 6 日 収蔵品展「清方描く、江戸情趣」(10 月 30 日まで)
- 平成 23 年 11 月 3 日 特別展「清方、三遊亭圓朝との出会いと芝居への愛慕」(12 月 9 日まで)
特別展開催期間中、重要文化財《三遊亭圓朝像》(東京国立近代美術館蔵)を展示。
- 平成 23 年 11 月 8 日 美術講演会「三遊亭圓朝と明治の芝居」(講師:今岡謙太郎氏)を開催。
- 平成 23 年 12 月 14 日 収蔵品展「新春 羽子板展」(平成 24 年 1 月 29 日まで)
- 平成 23 年 12 月 20 日 叢書 13「鐫木清方の美人画 一樋口一葉著作関係及び『婦人世界』『婦人公論』関係作品所収一」発行。
- 平成 24 年 2 月 7 日 収蔵品展「清方と舞台【第一期】」(3 月 11 日まで)
- 平成 24 年 3 月 15 日 収蔵品展「清方と舞台【第二期】」(4 月 15 日まで)
- 平成 24 年 3 月 24 日 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 4 日まで)